

整備事業評価書

(都道府県名: 熊本県)

政策目的	事業実施地区数ア	評価対象外地区イ	評価対象地区アーイ	成果目標の平均達成率	評価対象地区数のうち、都道府県が事業実施主体へ改善指導を必要とした地区数	地方農政局等から都道府県計画の改善指導の必要の有無	都道府県による総合所見	地方農政局等による総合所見
産地競争力の強化	2	0	2	96.4%	1	無	<p>・本県において、本年度の事業評価の対象となったのは2事業であり、成果目標は達成率90%で目標達成としている(90%未満で未達成とし、次年度以降改善報告書を求めることとしている)。2つの成果目標を共に達成したのが1事業、片方だけ達成したのが1事業であった。本県の平均達成率は96.4%であった。</p> <p>・成果目標が未達成となった1地区(嘉島町:ミニトマト)の要因は、連作障害による土壌病害の発生に伴う収量減であった。ただし、その対策として一部のハウスにクリーニングクロープを作付けする等、作付体系を見直し、病害を回避しながら全体としての収量増と販売額の安定を図っている。</p> <p>・なお、成果目標が未達成の事業については、今後、事業主体に対して改善計画の策定及びその実践を指導するなど、地元自治体と連携して目標達成に向けた取組みを推進していく。又、成果目標を達成しているが、実績値が未達成となっている事業についても、同様に状況把握及び目標達成に向けた取組みを推進していく。</p>	<p>県の成果目標平均達成率は、国が達成と判断する90%に対し96.4%であり、目標が達成された。 なお、熊本県が改善措置を必要とした地区(達成率90%未満)の概要は、以下のとおり。</p> <p>〈参考: 成果目標未達成地区の概要〉 【野菜】1地区 ・「契約取引割合の増加」及び「単位面積当たりの販売額の増加」を目標にミニトマトの低コスト耐候性ハウスを整備した1地区について、グローバルGAPの認証を取得し、契約取引割合の増加の目標は達成したものの、土壌病害が発生したため、ローテーションで一部のハウスを休作せざるを得なくなり、生産量が伸びず単位面積当たりの販売額の増加の目標は未達となった。</p>

(注) 1. 「成果目標の平均達成率」欄は、要綱別紙様式5に記載された率について確認の上、転記する。

2. 「都道府県による総合所見」欄は要綱別紙様式5に記載された内容を確認の上、転記する。